

花粉の飛散はハンノキから始まり スギ、ヒノキ、イネ科と続きます

花粉カレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
樹木	ハンノキ											
		スギ								スギ		
			ヒノキ									
				シラカンバ								
イネ科			ハルガヤ									
			カモガヤ									
			オオアワガエリ									
				ギョウギシバ								

スギ花粉飛散前、終了後に症状が出る場合、ハンノキ、イネ科などを測定しましょう。

花粉症から食物アレルギーを誘発することがあります

特にハンノキ花粉に感作するとリンゴ、モモなどのバラ科果物や、豆乳などの大豆加工品で食物アレルギーを起こすことがあります。これは花粉-食物アレルギー症候群(PFAS)と呼ばれ、花粉抗原と交差反応を示す成分を含む食品を摂取した数分後に、唇・口・喉などにイガイガ感やかゆみ・腫れなどのアレルギー症状を引き起こします。繰り返しこのような食品を摂取することで、重篤な症状を起こすことがあります¹⁾。特に豆乳によるPFASでは重症例が報告されています²⁾。

PFAS(花粉-食物アレルギー症候群) 関連する原因花粉と食物

	花粉飛散時期	花粉	花粉と関連性のある食物の一例
春	1~6月	ハンノキ、シラカンバ	リンゴ、モモ、大豆加工品(豆乳)など 
	2~5月	スギ、ヒノキ	トマト 
夏	4~11月	カモガヤ、オオアワガエリ	メロン、スイカ、キウイなど 

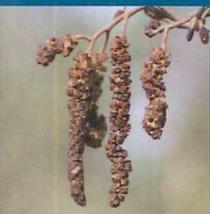
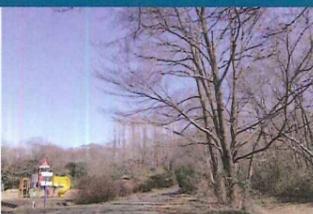
ハンノキ陽性の方は、花粉飛散時期にPFASも発症・悪化しやすいため、関連性のある食物の確認や花粉対策などの指導も実施しましょう。豆乳によるPFAS診断にはThermo Scientific™ イムノキャップ™ アレルゲンコンポーネント f353 Gly m 4の測定が有用です³⁾。



監修：増田 佐和子 先生
国立病院機構 三重病院
耳鼻咽喉科 医長

春の花粉はハンノキから 始まります！



花粉	飛散時期	生息場所
 <p>ハンノキ</p>	<p>1月～5月</p>	<p>全国で自生し身近な公園にも植樹されています。</p> 

ハンノキ花粉に感作されるとリンゴやモモなどの果物、豆乳などの大豆加工品を摂取したときに、口がイガイガしたりすることがあります。

これを花粉-食物アレルギー症候群(PFAS:ピーファス)と呼びます。



ハンノキ花粉はスギ花粉が飛散する時期より早く飛び始めます

ハンノキ花粉に感作した方の約17%の方がPFAS症状を起こしたとの報告があります¹⁾

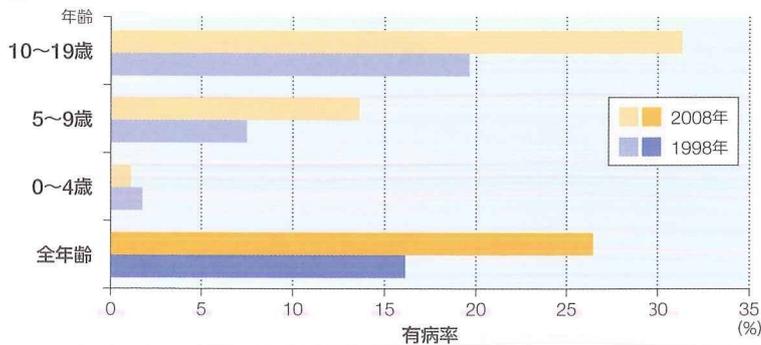
お子様の食べ物の好き嫌いも、PFASによるイガイガが原因かも知れません

1) 耳鼻臨床 110(4),265-273,2017

当院では、アレルギー原因を調べることができる血液検査が受けられます
お気軽にスタッフにご相談ください

花粉症は就学前後の小児でも増加しているとの報告があります

図 スギ花粉症有病率 4)より作図



保護者が見逃しやすい小児の花粉症の症状・しぐさは・・・

- 鼻をすする、眼や鼻をこする、瞬目が増える、口呼吸をしているなどのしぐさ
- 鼻づまりによるいびき
- 眼や鼻をこすることによる皮膚の赤みや鼻出血



小児の花粉症を診療する際には、しぐさに注意しながら問診し、検査によりアレルゲン感作を調べ、正確に診断することが大切です。

花粉症のお子様を持つ保護者への指導のポイント

- 花粉情報に注意し、外出時間の長さ、時間帯を考慮し、マスク・ゴーグルを活用させる。
- 寝具や洗濯物、衣類に付いた花粉を屋内に持ち込まない。
- 眼や鼻をこすらせない。手の爪を短く切り、清潔にしておく。
- 鼻をすすらせず、かむ習慣を身につけさせる。
- 帰宅時にはうがい、洗顔、鼻かみの3点を実施させる。
- 受動喫煙を避ける。
- 規則正しい生活をさせる。

具体的な指導は花粉症のお子様の増悪予防、QOL向上にも繋がります。

- 参考文献
- 1) アレルギー・免疫8(8):837-844,2001
 - 2) 西日本皮膚75(6):496-498,2013
 - 3) JACI129(3):860-863,2012
 - 4) 鼻アレルギー診療ガイドライン

中面は患者さん向けの情報です。待合室などに掲示をお願い致します。



Find out more at www.thermoscientific.com/phadia/ja

© 2018 Thermo Fisher Scientific Inc. All rights reserved.
All trademarks are the property of Thermo Fisher Scientific and its subsidiaries unless otherwise specified.
Printed in Japan. 1801-ot-866-10

サーモフィッシャーダイアグノスティックス株式会社
〒110-0015 東京都台東区東上野4-24-11 NBF上野ビル

☎ 0120-489-211 ✉ info-jp.idd@thermofisher.com

ThermoFisher
SCIENTIFIC